

The KOGOMORI TIMES

My Home Town Akiruno Report

vol. **45**
2026.6

あきる野市議会議員
としひと 議員活動
こごもり 敏人 レポート

産後ケアと子育て支援特集

助産院の院長さんらと 意見を交わしました

我が家にも3人の子どもがおり、産後ケアには非常にお世話になりました。その経験から産後ケアの更なる充実に取り組んでいます。そんな中、今回は、あきる野市内で産後ケアだけでなく、産後のママたちがホッと一息つけて、何でも相談できるトータルサポートの場づくりを進めている、ママエール、テラス助産院の伊藤博子院長や、産後家事・育児支援に取り組んでいる、小川はるみさんと意見交換をさせていただきました。

もっと、
あきる野。

産後ケアと子育て支援特集 Part ①

産後ケアのその先へ 新しいスタイルの助産院 を目指して

市内に開院して2年が経つ、ママエール.テラス助産院。
「産後ママのトータルケアサポート」を目指す伊藤博子院長に、
助産院の現状や、今後の新たな展開などについてお話をうかがいました。



ちょっとオシャレな助産院から トータルケアサポートの事業へ

こごもり ママエール.テラスは、すごくおしゃれな空間ですね。

伊藤院長 育児中のママが悩みを相談しながら「ホッと一息つける場所」にしたい。小さなスペースですが「ちょっとオシャレでくつろぎと満足を得られる心地良い時間」を過ごせる新しいスタイルの助産院にしました。

こごもり まもなく開院2年を迎えますが、産後ケアの利用状況などはどうですか。

伊藤院長 開院時はスタッフ3人でスタートしたのですが、その年の秋頃から予約が増えてきて、年明けからはドンドンと毎月毎月利用者が増えていきました。おかげさまであきる野市をはじめ、福生市、八王子市、日の出町と市外周辺の市町村のママに産後ケアのご利用をいただき、多くのママと赤ちゃんのサポートをしてきました。今ではスタッフも20人規模となり、新たな事業もスタート間近です。

こごもり 新たな事業というのは、市内2か所目の拠点のことですね。

伊藤院長 そうです。ママエール.テラス株式会社を設立し、「産後ママのトータルケアサポ-

ー」を目指して、産後ケア事業を受けられる期間終了後の母子向けの場所を新たに立ち上げようと準備を進めています。ここは、産後ママにとって「楽しい場所」でありたい。そして、育児中でも気兼ねなく利用できる「カフェ」のような場所も併設したいと思っています。

こごもり ママたちにとって嬉しい場所になりそうですね。

伊藤院長 ママも赤ちゃんも心から満足いただけ安らげる場所にしたいと思っています。ここでは産後が終わった以降も、ママの自由時間に過ごしてもらおう場にしたい。カフェでゆっくり、ママ同士でくつろぎながら、いろいろな情報交換をしたり、つながりや広がりを持ってもらえたら。



そして、ママエールとしても、いろいろな育児相談に乗ったり、ママの社会復帰に向けたサポートもしていきたいと考えています。ママの中にはきっかけが持たなくて、社会に復帰できないママもいるので。その他にも例えば、体にいい食のセミナーだったり、お味噌作りとか体にいい取り組みもできる場所にしていけたらと思います。



ケアを受けたママたちが今度はサポートする側にもっと受け入れを増やしていきたい



こごもり 開院から2年経つ中でスタッフも揃ってきて、今や利用されたママが今度はママエールで働くケースも出てきているそうですね。

伊藤院長 はい。スタッフがとにかくいいです。私も一緒に働いていて嬉しい。スタッフも「子どもがかわいし、自分がしたい仕事がここできると嬉しい」と。ホントに誠心誠意働いてくれていると思います。そんな中で、ここでケアを受けたママが、保育士としてここで働き始めてもいます。そのスタッフに訊くと、「ここでケアを受けて体も心も良かったから、今度は自分が新たに生まれてくるママたちに私たちの力を提供できるんだったら」との思いで手を挙げてくれているようです。そんなスタッフ間の空気が良いですね。

こごもり 今後に向けて、他にも考えていらっしゃることはありますか。

伊藤院長 やりたいことはいっぱいあるんです。例えば、今のところは手狭ですが、新たなところは広くて部屋数もあるので、現在、あきる野市では通所型の産後ケアは「出産した日から7か月以内」となっていますが、例えば利用期間を「1年以内」とかに市が延ばしてくれれば、マ

マたちに喜ばれるのでママエールとしては積極的に受け入れたいと考えています。

そして、ママたちの社会復帰に向けたサポートです。産後のママたちは、フルタイムでいきなり復帰するのは厳しい。そうすると社会復帰はなかなかできない、とみんな悩みます。自分の子育てと仕事のバランスをとって働ける場所もなかなか無いし、以前の職場には以前のようになかなか戻れないなど事情はいろいろです。きっかけができて社会に復帰できないんです。でも、とにかく働きたいという気持ちはあって、少しでも早く社会に復帰したいと考えているママは少なくありません。そんなママたちをママエールでサポートしていきたいと考えています。



JR五日市線
東秋留駅
徒歩9分

母乳・育児相談・産後ケア ママエール.テラス助産院

〒197-0823 あきる野市野辺 600-8 TEL 042-595-5950 <https://mamayell-terrace.com>



産後家事・育児支援の現場から考える

市内で、料理代行や助産院での産後ケア、食事相談などを行っている管理栄養士の小川はるみさんに、家事・育児支援の現状や課題などについてお話をうかがいました。



「ママが笑顔で過ごす」「子どもとの食事の時間を大切に」をモットーに、ママたちをサポート

こごもり どのような思いで、お仕事をされているのですか？

小川さん 3人の子育ての経験から、今しかない子どもたちと一緒にいられる時間を大切にしたい。そのために自分ができることとして、「料理をする時間を、ママの時間やお子さんとの時間にしよう」、そして、ママがまずはしっかり食べて元気になって、家族みんなが笑顔に、元気になるよう、料理代行や助産院での産後ケア、食事相談を行っています。

こごもり まさに、小川さんのホームページにも書かれている「new to return」ですね。

小川さん そうです。「new to return」については、食事を整えて、「new: 新たな自分になる、return: あるべき自分にもどる。食事から、心身ともに健康になってもらいたい」という思いからつけました。

こごもり 携わっていらっしゃる仕事から見えてくる最近の市内のママの状況に特徴などはありますか？

小川さん 市外から移り住んできている方が増えていると感じます。先日も「自分は地元じゃなくて、この前、飛行機に乗って実家へ帰ってました」とか。こういうケースだと、近くに助けてくれる人がいないから、ママが食べてない、しっかり食事が摂れてないんですね。お家に何うと、カップ麺やレトルトがいっぱい引き出しに入ってる。「そうかー」と思いながらサポートすることもあります。

こごもり お子さんもいろいろですね？

小川さん 納豆しか食べないお子さんとかもいますし、ママが疲れていて一緒に食べる機会もない。そうすると、食べることに興味がないお子さ



んになってしまったりするんです。

こごもり 家事・育児支援に行く中で、特に感じていることはありますか？

小川さん 支援に行くことで、ママも話し相手が来るのでお話ができるんです。そして、話していると、ホントは料理をして、上の子にはちゃんと食べさせてあげたいという思いを聞いたり、「これなら上の子も食べる」と感激されたり。料理代行でも産後ケアの場でも、食べながらだとば

ろぼろ話が出てきて、市の健診や助産師さんでも言っていなかったことが出てくる。その時間やコミュニケーションを大切にしています。



今後、充実したサポート体制を構築するために必要な「あること」とは...



こごもり 現在取り組んでいる市の産後家事・育児支援事業の状況をどう感じていますか？

小川さん 手厚い支援事業で利用者の方からは大変好評で、利用を途中で辞める方は少なく、最大の30回を利用されている方ばかりです。そのため新しい利用者さんに対応することが難しく、申し込みをしてから実際に利用を始めるまでに4か月待ったと聞いたこともあります。

こごもり そうすると、赤ちゃんが生まれて一番大変な時期に利用できない方がいますね。

小川さん 私もそうでしたがママはいつが大変

かという、それはやっぱり産まれた直後なので、この時に使えるようにしてあげたい、そして行ってあげたい気持ちがあります。

こごもり ①産後すぐの心身ともに大変な時期に支援を受けられる、②本当に必要なときに、厚く必要な支援が受けられるよう、ますますの産後家事・育児支援の充実や改善が大切だと感じました。

小川さん 事業に関わっているヘルパーの人数も限られていることから、利用できる回数の見直しなどで、より多くの方に支援が届く制度にしていっていただくことも重要だと思います。

こごもり そうですね、その上で継続的な支援が必要な場合には、こども家庭センターと連携してサポートしていけるような横断的な施策にしていきたいと思います。

小川さん すぐに実現するのは難しいところもあるかも知れませんが、あきる野の子育て支援がより良い方向へ進むよう、私も現場の立場からできることを続けていきたいと思います。



「ママが笑顔で過ごす」「子どもとの食事の時間を大切に」料理代行 / 助産院での産後ケア / 食事相談

ママとこども専門 管理栄養士 小川はるみ <https://www.harumi-eiyo.net>



子育て支援

子育てをする立場から、色々なことをカタチにしてきました。



実現!

子育て応援サイト「るのキッズweb」の開設

子育て支援に力を入れていくのなら、妊娠・出産・子育て中の家庭に、様々な情報やお知らせを届ける「子育て応援サイト」を作りましょう、と提案して開設されました。開設後もサイトの内容充実や子育て掲示板の活用など、より良いサイトとなるよう提案を続けています。

子育て応援サイト「るのキッズweb」はこちら→



子育て応援自販機を設置

飲料メーカーと協定を結び、自動販売機の売上収益の一部を市に寄附してもらい、市の子育て支援に充てる取り組みを提案し、設置されるようになりました。

実現!

木育(もくいく)の推進

木と触れ合う木育を推進し、母子健康手帳の交付時に、子育て応援品として多摩産材を使った職人の手づくりによる積み木を配付したり、子どもたちが木に親しむ機会を増やしたりしています。

実現!

液体ミルクの活用

2017年に国内でも流通できるよう求める請願書を厚生労働大臣に直接手渡したほか、市でも備蓄するよう議会で取り上げるなどして、活用が進むよう環境を整えてきました。

実行!

子どもたちとまちづくり

子どもたちと一緒に生活する中で気づいたことを大切にしています。



詳しくは市のホームページにて



「がくどうひなんじょ」について

子どもたちを不審者などから守るため、地域の皆さんと協力して市内各所に「がくどうひなんじょ」が設置されています。実は市内700か所以上に設置されているのですが、学校区ごとに設置数に大きな差があったり、子どもたちからも「知らない人の家には入りにくい!」といった声など、様々な課題が見受けられました。そこで、議会で取り上げ、いざという時に駆け込める場所として機能するよう、検討されています。



学童クラブでの昼食提供

夏休みなどの長期休暇中に学童クラブへ毎日お弁当を持っていくのは、保護者にとって本当に大変です。そこで、長期休暇中に学童クラブでお弁当を注文できる仕組みを作りました。

実現!

子ども一日図書館長を提案

夏休み期間などに、子どもたちを一日図書館長に任命して、図書館の仕事をしてもらう取り組みを知り、あきる野市でもやりませんかと提案。昨年初めて実施されました。

実現!

公園をもっと楽しく

前号のタイムス44号でも公園に対する様々な取り組みを紹介しましたが、子どもたちと出かける中で感じた改善点を議会で提案し続けています。

44号はこちら→

実行!



あきる野生まれ! あきる野育ち! 子籠 敏人 略歴&プロフィール

- 1973 あきる野市菅生生まれ。多摩川幼稚園、多西小学校、御堂中学校、東海大学菅生高等学校、立教大学経済学部経済学科卒業。立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科博士前期課程修了。
- 2009 西の風新聞社、時事通信社での新聞記者等を経て、あきる野市議会議員に初当選。1期目は議会広報改革で、市議会だよりを「ギカイの時間」にリニューアル。
- 2013 あきる野市議会議員に再選。2期目は議会改革推進委員長として、様々な議会改革を断行。議会基本条例の制定も実現。
- 2017 あきる野市議会議員に3選。44歳で市議会議長に就任し、市民行事に議長として積極的に参加。開かれた議会づくりと対話を展開。
- 2021 あきる野市議会議員に4選。議会選出のあきる野市監査委員に市制史上最年少で就任。
- 2022 あきる野市議会議員に5選。あきる野市監査委員に再任。



詳しくはこちら



生年月日 1973年7月12日、かに座 血液型 A型

家族 横浜生まれの妻(昭和女子大学卒、管理栄養士)
長女(2017年3月生)・長男(2020年3月生)・次女(2023年8月生)

好きなこと 料理(和洋中なんでも)、子どもの絵本を探して一緒に読むこと、家族でドライブ

所属団体 ボーイスカウトあきる野第1団/あきる野市倫理法人会/あきる野ホストファミリークラブ
あきる野市ゴルフ協会/菅生歌舞伎 菅生一座/あきる野青年会議所シニアクラブ
ローカル・マニフェスト推進連盟/全国若手市議会議員の会OB会/東京都獣害対策議員連盟 など

もっと、あきる野。



市民の皆さんに役立つ情報や 議会活動などを日々発信中!

こごもり敏人 オフィシャルサイト
<https://www.kogomori.com/>



つながろう。



こごもり敏人と「もっと、あきる野」の会

〒197-0801 東京都あきる野市菅生1753 ☎080-1202-7567 ✉info@kogomori.com

[討議資料]